

人権学習会 最終講座が開催されました!



講師の竹花さんと閉会挨拶の堤教育長です



10月28日(木)、夕方6時30分から8時まで、隣保館デイルームにおきまして、今年度最終となる講座を開催しました。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、今回も事前申込みをしていただいた40名のみなさんに参加いただきました。

『性の多様性』をテーマに、京都府立高等学校教諭の竹花 惇さんから、「多様な人が安心して暮らすために、社会のあたりまえを見直す力を持ち、他者の多様性を認めながら相手の思いを尊重することで誰もが生きやすくなる社会になる」と伝えていただきました。その思いをみなさんと共有できた講座になりました。

参加者の感想(抜粋)

◆この世の中に「あたりまえ」「ふつう」といった曖昧なラインがあり、そこからはずれると「変わった人」となってしまう。この現実をどうしたら変えられるのか。生きづらさを感じる人をなくすにはどうしたらよいか。考えさせられました。自分の性について、今まで意識したことがなく、今日のお話は、とても興味深かったです。ありがとうございました。

◆人権教育のいろいろな活動や意見を知ることができました。服装や髪形など見た目も好きにしたいです。しほりが多い世の中です

◆性の多様性について、数が限られていないということと、いろんな種類があるのだと思った。自分にも子どもがいるので、もし将来そうならっても尊重して認めたいと思う。

◆貴重なお話ありがとうございました。私は小学校教員をしているのですが、「男子」「女子」とくっつけて呼んでしまうことがあります。そうやって身体の性だけでくるのは良くないと思いつつ、そうくっつけてしまうのが当たり前になっていることをなかなか変えられないでいます。「LBGTQ」はかなり認知されてきましたが、私自身あるマンガをきっかけにアセクシャルやアロマンチックという性もがあると知りました。まずは知ること。そして考えることを自分なりにしていきたいと改めて思いました。

◆「多様性」について、まずは自身のことを交えて話してください、興味深く話を聞かせてもらい、ありがとうございます。

まずは、自分自身のことを知ることが差別をなくすことにつながると思うことができました。教育の面でも大変参考になりました。

◆男とか女、LGBTであるとかそうでないとか、一人の人間を一つの型にあてはめる必要はない。ひとり一人違って当たり前なの社会が実現となればいいと思います。

◆性に関する事だけでなく、自分以外の人を理解しようとする気持ちが大切だと思った。



10/27:「ビンゴゲーム大会&カレー食堂」

11/10:「ぎょうざの皮ピザを作って食べよう」

11/17:「すみっぐらし」のストラップを作ろう

「新型コロナウイルス感染症防止」のため中止していた『小学生のための隣保館&児童館開放』を10月から再開しています。

感染症予防対策のなかですが、また子どもたちが笑顔で来館してくれ、嬉しく感じています。

「子どもたちの笑顔が戻りました」

12月4日から10日までは「人権週間」です!

・1948年12月10日「戦争の世紀から人権世紀への転換」として「世界人権宣言」を採択、毎年12月10日を「人権デー」と定め、12月4日から10日までを人権週間とし、この間、「人権尊重をめざす県民の集い」などさまざまな人権関連のイベントや啓発が行われます。

★日栄小学校あおぞら学級&豊郷小学校ひまわり学級



あおぞら学級とひまわり学級、どちらも11月は、秋の深まりを感じるステキなカレンダーです。これからだんだんと寒くなってくるので、今しか見られない秋の風景や生きものたちを、みんなと一緒に楽しんでください。来月も楽しみにしています!



洋服などのシェアイベント

- 日時: 12月4日(土) 9:30~11:30
- 会場: 豊郷町隣保館 (☎0749-35-0611)
- 感染症予防対策として、①入場時の検温消毒、マスクの着用 ② 密集、密接を防ぐため、一家族3名まで。③ 会場は全開としますので、防寒対策をお願いします。

おしらせ